

労働産業局 # 3 「棚橋 悠実」

映像・内容		コメント・テロップ
オープニング (10秒くらい)		「クラスみんなで乗り越えていったことで自信になりました」 「本当のゼロからだったらもっと混乱していました」 「自分もこんな感じになるのかなという世界が創造できて」
紹介	NA	平成25年度、東京都立中央・城北職業能力開発センターを修了した棚橋悠実（たなはしゆみ）さん。現在は印刷企画営業科での経験を活かし、欧文印刷株式会社で営業として働いています。
		ON「本当の現場と学校とだとちょっと雰囲気も違いますし、流れも違ったりするんですが本当にほんとのゼロからだったらもっと混乱してたんだろうなっていうのがあります。あらかじめぜんぜん見たことがないものが目の前にくるとかそういうことじゃなくて、ちょっとですが心の準備をすることができるのでよかったと思います。」
	NA	棚橋さんは勉強していただくだけではなく、職業能力開発センターでは色々なことを感じました。
		ON「人脈とまではいきなりですけど、色々な幅広い方と話をする機会っていうのはなかなか、これから営業をやっていけばあるのかもしれないんですけど、お仕事としてではなく、関わるのがなかなかないと思うので、いい刺激を受けたと思います。」
	NA	今、ある目標を胸に自分の営業という仕事に誇りを持って日々働いています。
		ON「まず一人前になる、一人でこうお客様に安心してまかせられ、棚橋にまかせられるっていただけたことが一つと、あとはありがたいってってもらえるような営業になりたいなって思ってます。」
	NA	夢を持って働く棚橋さんの働きぶりを上司はこう評価する。
		ON「お客様と接して、もしくは社内で例えば現場ですね、工場に行くと、の評判が非常にいいです。これはわからないことは素直に彼女は聞くんですね。これはなかなかできないことだと思うんですけど。この間、工場の人間が言っていたのは、今まで何人か新人が入ったり、途中で入ったりしていたけど、とても前向きだと。そこまで聞いてきた人はそうそういないよっていうのは実は言われました。そういう点では、とてもまじめで、これから戦力になってくるだろうなと思って

		います。」
	NA	仕事に前向きな棚橋さんが職業訓練に関心のある方へ送るメッセージとは…
		ON「好きなことをやったほうが楽しいと思うし、そのほうが続けられると、自分でやりがいがあるなって思えると思うので、好きなことあったほうがいいと思うのですが、その好きなこととか続けたいって思うことも色んなことをやってみないとわからないのでぜひ入学していただきたいと思います。なんでもやってみたほうがいいと思います。」
□コ		

